

【EU】 バロゾ欧州委員会委員長、鳩山代表に力強いメッセージ

海外立法情報調査室・植月 献二

* 駐日欧州委員会代表部によれば、欧州委員会のバロゾ委員長は、衆議院選挙で民主党が勝利を得たことに対し、鳩山代表に2009年9月2日に祝辞を送り、また、9月15日に、日本とEU間の戦略的関係を一層拡大かつ深化させたい旨の協力を呼びかけるメッセージを送った。

欧州連合（EU）欧州委員会のジョゼ・マヌエル・バロゾ委員長は、2009年8月30日に行われたわが国の衆議院選挙の結果、民主党が勝利したことに対して同党の鳩山由紀夫代表に2度にわたるメッセージを送っている。

最初は、選挙明けの9月2日の祝辞。民主党の勝利を祝い、欧州委員会は、日本とEU間の政治・経済協力を一層推進すると決意し、共通の価値と信念の下で気候変動、グローバル経済回復、開発協力などの国際的課題に対して新政権と協力し、多国間協議の場でも緊密な連携をとっていききたいと述べた（注1）。

2回目は、9月15日に駐日欧州委員会代表部のヒュー・リチャードソン大使を介して民主党の国際局長に手交されたものである（注2）。メッセージでは、同委員長が鳩山代表の論文を読んだ上で、日本とEUが「意を同じくする」とし、「格段に緊密な協力関係を構築し、現下の厳しい時局を乗り切るために、協調した指導力を発揮していくことが、世界的に主要な役割を果たす両者が、他の国々に対して負うべき責任であると考えて」と述べている。

そして、特に、協力の強化を図りたい分野として、①経済危機への対応とG20の枠組みにおける協力、②気候変動対策、③貧困対策、④日・EC科学技術協定の実施によるグリーン技術や再生可能エネルギー研究、を挙げた。

最後に、2001年の第10回日・EU首脳協議において採択された双方の協力の土台である行動計画が2011年に終了するため、2010年の定期首脳会議において新たな枠組みに関する公式協議を開始することの必要性を述べて結んでいる。

なお、バロゾ委員長は、2009年9月23日付けの朝日新聞にも「鳩山首相に期待する」と題した記事を寄稿し、温暖化対策について待ったなしの危機を訴え、首相となった鳩山代表への強い期待を寄せている。

なお、鳩山代表が首相に指名された2009年9月16日、欧州議会で、バロゾ委員長も欧州委員会の委員長に再任された。任期は5年間である。

注（インターネット情報はすべて2009年9月25日現在である。）

(1) 駐日欧州委員会代表部『バロゾ欧州委員会委員長、鳩山民主党代表に祝辞』2009.9.2

<<http://www.deljpn.ec.europa.eu/modules/media/news/2009/090902.html>>

(2) 駐日欧州委員会代表部『バロゾ欧州委員会委員長から鳩山代表へのメッセージ伝達』

2009.9.15 <<http://www.deljpn.ec.europa.eu/modules/media/news/2009/090915.html>>